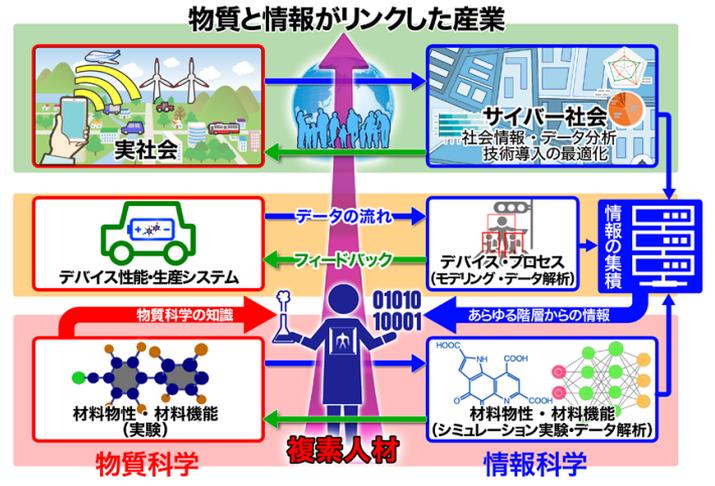


アウトカム1

"Student-centered learning"の実現と多様な学生・教員の獲得

卓越した大学院教育プログラムの設置と教育実施

- ◇ 平成30年度卓越大学院プログラム（文部科学省公募）申請
 タイトル：『物質×情報=複素人材』育成を通じた持続可能社会の創造
 - ・物質理工学院及び情報理工学院を中心に、情報科学を駆使し、分子から社会までをつなげて考え、新しいサービスや新しい材料を設計する「複素人材」の輩出を目的としている。
 - ・当プログラムの核となる「プラクティススクール（教員と学生がチームになり、同一企業に6週間滞在し、企業の最重要課題を解決する）」について試行実施。
 - ・企業16社から資金提供を含めた賛同、その他、海外との連携（MPG, 企業（BASF, EVONIC））も積極的に実施。



アウトカム2 研究成果の世界的認知度の向上

Tokyo Tech ANNEXの設置と海外大学・企業等との連携教育研究実施

- ◇ Tokyo Tech ANNEX Bangkok（2018年3月設置）の状況
 - ・現地企業（タイ企業、日系企業）、関連業界団体等との共同研究について検討を実施
- ◇ 新規Tokyo Tech ANNEX設置に向けての取組
 - ・新規ANNEX設置候補地として、ドイツ・アーヘン工科大学を選定
 - ・現地調査（2018年8月）を踏まえ、2019年3月に開所式典及び研究ワークショップ実施を決定



ANNEX Bangkok開所式

アーヘン工科大学

アウトカム3 新規・融合分野の研究領域の開拓

未来社会DESIGN機構による未来社会像とその実現方法の提案

◇ 未来社会DESIGN機構について

これからの科学・技術の発展などから予測可能な未来とはちがう、人々が望む未来社会とは何かを、社会と一緒に考えてデザインするための組織として平成30年9月7日設置。

未来社会DESIGN機構 <https://www.dlab.titech.ac.jp/>



アウトカム4 新たな領域の知の社会実装等の社会連携活動の強化

知のマーケティングに基づく本格的産学連携研究の推進

◇ 企業との組織的連携推進

学長、理事・副学長によるトップセールスを精力的に実施。平成30年8月30日現在、20社以上の大手企業の経営者と面談し、企業の経営戦略に沿った提案を行ったことで、その中の1社と平成31年4月に「協働研究拠点」を設置予定。

◇ オープンイノベーション機構（O I 機構）設置

高度なマネジメント人材による競争領域における大型共同研究を推進するため、平成30年7月に設置。

オープンイノベーション機構 <https://www.oi-p.titech.ac.jp/>

アウトカム5 教育研究基盤発展の自立化

田町キャンパス再開発導入可能性調査

◇ 附属高校の大岡山キャンパスへの移転

田町キャンパス再開発検討部会を開催。附属高校移転及び建築・土木系等先行移転計画について戦略統括会議了承済。

◇ 田町キャンパス再開発事業に係るアドバイザリー業務

公募型企画競争により選定されたPwCアドバイザリー合同会社と2018年6月にアドバイザリー業務の委託契約を締結し、翌年1月の導入可能性調査報告書取りまとめに向け、再開発手法の条件整理、建築ボリュームスタディ、民間事業者へのヒアリング及び収支シミュレーションを含む導入可能性調査に着手。